

## 〔事業者の理念・方針、期待する職員像：小規模保育事業〕

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	1）心身ともに健康に過ごせること 2）優しい気持ちを持てること 3）興味や関心を満たしたくさん遊ぶこと 4）自分でやろうとする意欲が持てること 5）自然に触れて感性豊かに過ごせること
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	（1）職員に求めている人材像や役割
	笑顔を絶やさず、優しく丁寧な対応ができ、保護者から信頼され、安心して子どもを託すことができるような人。
	（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）
	大事な命を預かっているという責任と、大切な成長の時期に関わらせてもらっているという誇りを持ち、子育てのお手伝いをさせていただいているという謙虚な気持ちで努めてほしい。

## 〔利用者調査：小規模保育事業〕

調査対象	8月1日現在、保育園を利用している全世帯を対象に調査を実施しました。兄弟姉妹のいる世帯は、1世帯として扱い、一番年齢の低いお子さんを対象として回答してもらいました。			
調査方法	無記名方式。配付は事業所を通じて保護者へ手渡しし、回収は密封して評価機関に直接送付してもらい、取りまとめました。調査結果は選択回答だけでなく、記述式の回答についても匿名性に配慮してまとめ、保育園に報告しました。			
	利用者総数	17		
	利用者家族総数（世帯）	16		
	共通評価項目による調査対象者数	16		
	共通評価項目による調査の有効回答者数	14		
	利用者総数に対する回答者割合（％）	87.5		

## 利用者調査全体のコメント

総合的な感想では、「大変満足」12名、「どちらともいえない」2名であり、86%の利用者が大変満足と回答しています。

毎日の保育サービスにおける「子どもの心身の発達」、「子どもの興味や関心」、「園における食事・おやつ」、「自然や社会と関わる機会の確保」、「職員との信頼関係」、安心・快適性における「職員の接遇・態度」、利用者個人の尊重における「子どもの気持ちを尊重した対応」、「プライバシーに対する職員の対応」、「保育内容に関する説明」、および不満・要望への対応における「不満や要望への職員の対応」でそれぞれ85%以上と多くの項目で高い満足度がうかがえます。

自由意見では、「一人ひとりに寄り添い、一緒に成長を見守ってくれるパートナーです。とても感謝しています」、「いつもよく気にかけて下さり、安心して預けられ感謝しています」、「ステラ竹の塚に通わせてから、一日一日の成長をとても良く感じています」、「いつも園児を楽しませる工夫をしてくださり、ありがとうございます」など、園に対する感謝の声が多く寄せられています。一方、「子どもたちの衛生面について気にしてほしいです」などの声がありました。

## 利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	14	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「同世代の子達と先生方とのふれあいで、良い刺激を受けています」などの声がありました。				

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	14	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「楽しめるような工夫を色々考えて、取り組ませてもらっています」などの声がありました。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	14	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「離乳食の進み具合を考慮して、柔軟に対応していただいています」などの声がありました。				
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	12	2	0	0
86%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「散歩や水遊びなど天候に配慮しながら、積極的に取り組んでもらっています」などの声がありました。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	9	2	0	3
64%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「利用時間の変更をあまりしたことがないので”どちらとも言えない”にしました」などの声がありました。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	10	2	2	0
71%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「子どもの危険が無いよう、よく目配りしていただいています」、「子どもの指がゲートの鍵に挟まったことがある」などの声がありました。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	9	2	0	3
64%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「コロナの影響で保護者の行事参加ができず残念です。今の時期は仕方がないのですが」、「お誕生日会の日程をずらしていただけた」、「コロナ禍で無し、正しい判断だと思います」などの声がありました。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	13	1	0	0
93%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「園や家での様子を伝えあい、安心感が持てます」などの声がありました。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	11	3	0	0
79%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「いつもきれいに整頓されています」などの声がありました。				

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
10. 職員の接遇・態度は適切か	12	2	0	0
86%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「子どもに優しく対応していただき、子ども先生が大好きです」などの声がありました。				
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	11	1	1	1
79%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「慎重で連絡などの対応がとても早いと思います」、「活動でケガをしたりすると思いますが、ちょっとだけのキズなのは、あまり話しをしてくれない場合があります」などの声がありました。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	6	1	1	6
43%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	13	1	0	0
93%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「皆さんが子どもに向き合ってくださいる園だと感じています」、「入園から間もなく、慣れない子どもも少しずつ打ち解けてきました」などの声がありました。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	12	1	0	1
86%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「信頼できる先生方です」などの声がありました。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	12	2	0	0
86%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「連絡帳やお迎え時に会話で、園の様子がよく伝わってきます」などの声がありました。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	13	1	0	0
93%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「こちらの希望をよく受け止めてくださいます」、「子どもたちだけでなく、保護者たちの話も聞いて下さると思います」などの声がありました。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	8	2	1	3
57%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				

〔組織マネジメント：小規模保育事業〕

I 組織マネジメント項目 ( カテゴリー 1 ~ 5、7 )

No	共通評価項目	
1	カテゴリー 1	
	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー 1 ( 1 - 1 )	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 7 / 7
	評価項目 1 事業所が目指していること ( 理念・ビジョン、基本方針など ) を周知している 評点 ( ○○ )	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること ( 理念・ビジョン、基本方針など ) について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること ( 理念・ビジョン、基本方針など ) について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	評価項目 2 経営層 ( 運営管理者含む ) は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事務所をリードしている 評点 ( ○○ )	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること ( 理念・ビジョン、基本方針など ) の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること ( 理念・ビジョン、基本方針など ) の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している ○非該当
	評価項目 3 重要な案件について、経営層 ( 運営管理者含む ) は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点 ( ○○○ )	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている ○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ○非該当
	カテゴリー 1 の講評	
	園の目指す姿は職員に理解され、子どもの楽しみ、保護者の喜びにつながっています	
	園の方針として、小規模保育園の特性を活かすことで、家庭的な雰囲気の中で子供たちが、要求や欲求を満たしながらのびのびと安心して過ごせる園を目指しています。これは星風会グループの理念とも一致し、入園のしおりにも記載され、職員会議においても都度振り返りがなされています。園の目指す姿のイメージの浸透など、職員の理解が深まるような取り組みを通じて、職員は子どもたち一人ひとりを丁寧な対応でお預かりし、子どもたちはそれを毎日の楽しみとし、それを受けて保護者は喜びや安心感を抱き、職員の笑顔にもつながっています。	
	園の目指す姿への取り組みに向け、園長自ら実践をとおして職員へ伝えています	
	園長は、園の目指している姿に対して職員の取るべき行動はどうあるべきか、年度初めの職員会議、定期的な職員	

	<p>会議、日々のミーティングの場など対話の中で、あるいは、職員と保護者との直接のやり取りの場面で、必要ときに園長自らが動いて対応をアシストするなど、コミュニケーションの大切さを具体的に職員に伝えています。園長は、職員一人ひとりに分け隔てのない指導を通じて、職員は保護者に対してはもちろんのこと、地域の方々にも積極的に自ら進んでコミュニケーションを図るなど取り組んでいます。</p>		
	<p><u>重要案件の決定事項は、内容に応じた形で職員に周知を図っています</u></p> <p>重要な案件には、例えば、月1回実施するグループの園長会で討議された内容、足立区からのインフォメーション、保護者アンケート結果に対する改善などがあります。園長会での決定事項は、毎月議事録の内容説明を通じて、職員に周知・展開しています。足立区からの30分ルール（何かあった場合に30分以内の足立区への連絡）については、遵守事項として徹底しています。アンケートに対する改善提案については、職員会議でどのようにすべきかを決定したうえで、必要に応じて園内にて即対応を図るようにしています。</p>		
2	<p>カテゴリー 2</p>		
	<p>事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行</p>		
	<p>サブカテゴリー 1 ( 2 - 1 )</p>		
	<p>事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している</p>	<p>サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 6 / 6</p>	
	<p>評価項目 1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している <span style="float: right;">評点 ( ○○○○○○ )</span></p>		
	<p>評価</p>	<p>標準項目</p>	
	<p>●あり ○なし</p>	<p>1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している</p>	<p>○非該当</p>
	<p>●あり ○なし</p>	<p>2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している</p>	<p>○非該当</p>
	<p>●あり ○なし</p>	<p>3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している</p>	<p>○非該当</p>
	<p>●あり ○なし</p>	<p>4. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）について情報を収集し、課題やニーズを把握している</p>	<p>○非該当</p>
	<p>●あり ○なし</p>	<p>5. 事業所の経営状況を把握・検討している</p>	<p>○非該当</p>
	<p>●あり ○なし</p>	<p>6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している</p>	<p>○非該当</p>
	<p>サブカテゴリー 2 ( 2 - 2 )</p>		
	<p>実践的な計画策定に取り組んでいる</p>	<p>サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5 / 5</p>	
	<p>評価項目 1 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している <span style="float: right;">評点 ( ○○○ )</span></p>		
	<p>評価</p>	<p>標準項目</p>	
	<p>●あり ○なし</p>	<p>1. 課題をふまえ、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画を策定している</p>	<p>○非該当</p>
	<p>●あり ○なし</p>	<p>2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している</p>	<p>○非該当</p>
	<p>●あり ○なし</p>	<p>3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている</p>	<p>○非該当</p>
	<p>評価項目 2 着実な計画の実行に取り組んでいる <span style="float: right;">評点 ( ○○ )</span></p>		
	<p>評価</p>	<p>標準項目</p>	
	<p>●あり ○なし</p>	<p>1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた、計画の推進方法（体制、職員の役割や活動内容など）、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している</p>	<p>○非該当</p>

●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当	
カテゴリー 2 の講評			
<p><u>園を取り巻く環境や課題を抽出し、必要な対応を図っています</u></p> <p>利用者の意向を知るため、年に一度保護者アンケートを行なっています。また日々の送迎時や連絡帳、そして今年度はコロナ禍のため実施できませんでしたが保育参加の行事や保育参観の際にもニーズを把握するよう努めています。職員の意向については、毎年職員の自己評価や自己申告書を通じ、異動などの希望も含めて確認しています。地域福祉の現状については、足立区教育だよりや研修での情報、系列園からの情報等を通じ把握しています。園として検討や解決をすべき内容については、園長会議や職員会議などの場で対応を協議し決定しています。</p>			
<p><u>園が目指す姿に向けた活動を事業計画書などで明確にしています</u></p> <p>「事業計画書」には、品質方針、運営方針、基本理念に沿った保育目標、保育方針や保育内容を明確にしています。ここに示された基本的な考えは、利用者の意向、地域福祉のニーズ、園の課題を反映したものとなっています。保育の具体的な園の取り組みは、「令和3年度ステラ竹の塚保育園取り組み計画」、「同、運営計画」に盛り込まれ、園の保育の年間計画として具体的なものとしており、今回の職員アンケートでも職員の理解・認識の高さがうかがえます。</p>			
<p><u>年齢と発育に応じた個別指導計画に基づいた保育が実施され計画見直しもされています</u></p> <p>園の年間保育計画は「事業計画書」を受けて策定され、全体的な計画を踏まえ年間指導計画、月案、週案に展開し、子どもひとりの年齢や発育に応じた個別の保育につなげています。園が行う活動含め計画とおりに行われているか、改善を必要とする事項があるか、職員会議において確認と共有がされています。なお、重要と判断された内容は、次年度に向けての計画づくりに活かすため、各クラスの指導計画等にポイントをメモに残しています。</p>			
3	カテゴリー 3		
	経営における社会的責任		
	サブカテゴリー 1 ( 3 - 1 )		
	社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 2 / 2	
	<p>評価項目 1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる</p> <p style="text-align: right;">評点 ( ○○ )</p>		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	○非該当
	●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
	サブカテゴリー 2 ( 3 - 2 )		
	利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4 / 4	
<p>評価項目 1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている</p> <p style="text-align: right;">評点 ( ○○ )</p>			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当	

●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
<b>評価項目 2</b> 虐待に対し組織的な防振対策と対応している <span style="float:right">評点(○○)</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリー 3 ( 3 - 3 )		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5 / 5
<b>評価項目 1</b> 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる <span style="float:right">評点(○○)</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
<b>評価項目 2</b> 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている <span style="float:right">評点(○○○)</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリー 3 の講評		
<u>園全体で守るべき法、規範、倫理などが遵守されるよう取り組んでいます</u> 園として、子ども、保護者に満足していただける保育サービスを提供するために、どのような園を目指すかを運営方針、基本理念、保育目標を明確にしています。それ以外に、法令、規範および倫理についても、足立区のガイドライン、雇用・労働、環境・衛生、安全・防災、個人情報保護、虐待防止、苦情解決など、これらの遵守を毎年の事業計画書に明確しており、職員間で共有しています。また新入職員に向けて、入職時の研修や就業規則、保育園規則等を配布・説明しています。このように園全体で守るべき法、規範の遵守の徹底を図っています。		
<u>虐待の早期発見・防止に向け、常日頃から手順・体制について確認しています</u> 虐待の早期発見・防止に向け、職員会議の場で虐待マニュアルを参照しながら「保育実践振り返りシート」により、職員全員で自己評価を行ない、その結果を共有することで対応力の維持に努めています。また虐待を受けている疑いのある事実を把握した場合等の対応について、虐待マニュアルや重要事項説明書に記載し区や児童相談所等と連携した対応をとることとしています。このような虐待に対する園の体制については保護者にも伝えていきます。		
<u>保育園としての機能を活用して、地域福祉に役立つ活動を積極的に行なっています</u> 園の活動内容をホームページ、「保育コンサルジュ」などで公開し、地域を含めた外部に活動の透明性を図っています。また、看護学校と連携し看護学生の実習を多数受け入れ、実習記録の内容を評価し、保育者としての自覚や態度のあり方を指導しています。園が地域の一員として役割をはたすため、地域ネットワーク連絡会にも参加しています。また商店街のイベント(公園の花植えなど)への参加のほか、地域のニーズに即した一時保育、園の見学、育児相談なども随時おこなっており、地域と連携した活動を積極的におこなっています。		

4	カテゴリー 4		
	リスクマネジメント		
	サブカテゴリー 1 ( 4 - 1 )		
	リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5 / 5	
	評価項目 1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる 評点 ( ○○○○○ )		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク ( 事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など ) を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
	●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
	●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画 ( B C P ) を策定している	○非該当
	●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
	●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
	サブカテゴリー 2 ( 4 - 2 )		
	事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4 / 4	
	評価項目 1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている 評点 ( ○○○○ )		
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員 ( 実習生やボランティアを含む ) が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	○非該当	
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当	
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当	
カテゴリー4の講評			
<p>各種手順・マニュアルを整備し、事故、感染症、災害などのリスクに対応しています</p> <p>園の活動を阻害する要因として懸念されるリスクへの対応については、「事故対応マニュアル」、「感染症マニュアル」、「危機管理マニュアル」等で、どのように取り組むかを明確にしています。ヒヤリハットについては、日々の話し合いであったり、保育日誌に記載されることもあり、園において統一した記録の残し方をしていない状況です。取り組んだリスク対応の振り返りや再確認をすることを容易にするため、ヒヤリハット等への対応情報を記録する仕組みが今後期待されます。</p>			
<p>新型コロナを含む感染症に対し行政ガイドライン・通知を取り入れ仕組みを整えています</p> <p>新型コロナウイルス感染症への対応を含め、厚労省からの「保育所における感染症対策ガイドライン」、東京都からの「保育所等における感染症対策の徹底」、および足立区教育長通知など、行政からのガイドライン・通知を遵守しています。食事やお遊びの長机には、子どもごとにアクリル板でパーティションを設置して飛沫感染の対策を講じたり、嘔吐への対応セットをすぐに取り出せる場所に置いたり、鼻水を拭いた場合には手を洗うことを徹底さ</p>			

	せており、感染症対策に配慮した仕組みを整え、取り組んでいます。	
	<p>情報管理の方法を規程に定め、情報漏洩への配慮を含め適切な管理・利用に努めています</p> <p>保育園で使用する文書は一覧表で明確にし、保管期限を設定し、取り扱い方法（情報の収集、利用、保管、廃棄など）は服務規程に定めています。これらの文書はカギのかかる書庫に保管されており、朝から夕方までの時間帯のみ閲覧可能です。園で使用する文書を含め、必要な人が必要な時に活用するといった面で課題がありました。分類、整理等今後の取り組みが期待されます。個人情報保護については、情報漏洩を含めた管理に配慮しており、PCは園長のみでの使用とし、アクセス制限を設定するなど細心の注意が払われています。</p>	
5	カテゴリー 5	
	職員と組織の能力向上	
	サブカテゴリー 1 ( 5 - 1 )	
	事業所が目指している経営・サービスを実現する 人材の確保・育成・定着に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 12 / 12
	<p>評価項目 1</p> <p>事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている <span style="float: right;">評点 ( ○○ )</span></p>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる <span style="float: right;">○非該当</span>
	<p>評価項目 2</p> <p>事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している <span style="float: right;">評点 ( ○○ )</span></p>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）が職員に分かりやすく周知されている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）と連動した事業所の人材育成計画を策定している <span style="float: right;">○非該当</span>
	<p>評価項目 3</p> <p>事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる <span style="float: right;">評点 ( ○○○○ )</span></p>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成（研修）計画を策定している <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成（研修）計画へ反映している <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	<p>評価項目 4</p> <p>職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる <span style="float: right;">評点 ( ○○○○ )</span></p>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇（賃金、昇進・昇格等）・称賛などを連動させている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 就業状況（勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど）を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>

サブカテゴリ 2 ( 5 - 2 )

組織力の向上に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の

標準項目実施状況 3 / 3

評価項目 1

組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる

評点 ( ○○○ )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

カテゴリ 5 の講評

人材確保に向けてグループ全体で大学や専門学校の訪問を毎年計画し実行しています

園が求める人材確保に向け、法人本部および系列園が加わり、「学校訪問予定」をもとに、大学や専門学校等を訪問し、理念や方針、園の特色や日常の保育の紹介含め、PR活動を継続的に実施しています。人事異動や配置については、採用時での希望確認のほかに、年に一度、グループ全体で意向調査（アンケートのみでなく、面談を通しての意向確認を含む）を行っており、柔軟な異動や配置に配慮しています。

園の求める人材像と職員の意向を踏まえ、年度毎に教育訓練計画書を策定しています

年度毎に職員一人ひとりの意向も踏まえて、個人別の教育訓練計画書を策定し、身に着きたい技術水準や専門知識、専門資格の取得を盛り込むなど、職員の能力向上に向け取り組んでいます。なお、園の求める職責または職務内容に応じた長期的な展望は、職員会議や日々の職員とのコミュニケーションのなかで園長が伝えていますが、具体的なキャリアパスの見える化等、職員に分かりやすい周知といった面で課題となりました。今後の取り組みに期待します。

職員の得意分野や強みを発揮できる環境づくりに配慮しています

日々のミーティングや保育の中での職員との会話を大切にして、気兼ねすることなく相談できる雰囲気づくりに配慮し、職員の意向を確認しながら、職員の得意分野や強みを発揮できる環境づくりに取り組んでいます。その結果、お互いをカバーし合えるような役割分担となり、働きがいの向上や良好な人間関係の維持にもつながっています。また、職員が外部での研修会で得た内容をレポートや発表し共有化するなど、お互いの学びを通して職員のモチベーションアップ、一体感や安心感にもつながっています。

7	カテゴリー 7
事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリー 1 ( 7 - 1 )	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
評価項目 1	
事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている ( その 1 )	
前年度の重要課題に対する組織的な活動 ( 評価機関によるまとめ )	
<p>子どもの人権に配慮した保育を行なうことを課題目標としました。園では、子どもの心情に配慮し、子ども自身が多くの人から大切な存在として受け止められていると感じ、自己を十分に発揮して自信をもって安心した生活できる場所となることを目指しています。</p> <p>具体的な取り組みとして、職員会議の場で、法人で作成している「行動規範」に立ち返り、ここに定めている内容を再確認しました。また日常保育の中で、職員が子どもの気持ちを傷つけるような言葉掛けや否定的な対応をしないこと、穏やかに子どもに語り掛け、応答的にかかわるよう常に意識し取り組みました。人権に関わる研修参加やミーティングなどを行ない、また年度末の自己評価の際には、ガイドラインの振り返りシートを保育者自身が結果を見て反省、考察を行ないました。</p> <p>取り組みの結果、余裕のない状況下になったときには、不適切な言葉使いや対応がでそうな場面はありましたが、職員全体として雰囲気改善傾向にあり、そのような場面は減少していき、子どもが喜び、安心して過ごすことができるよう、引き続き、園として対応していきたいと考えています。</p>	
目標の設定と 取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった ( 目標設定を行っていなかった場合も含む ) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目 1 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
<p>年間を通じての研修やミーティングにて、再確認することで知識としては身についたと言えました。一方、保育の現場においては、とくに余裕のない状況下になったときには、不適切な言葉使いや対応がでそうな場面はありましたが、職員全体として雰囲気改善傾向にあり、そのような場面は減少していき、目標達成率は80%という園の評価です。職員は子ども一人ひとりの思いをしっかりと受け止め、子どもに寄り添いながら丁寧な対応を心掛けるようになってきており、園としても心掛けて実施していきたいと考えています。園として自信をもって、子どもが安心できる場所となることは、保護者支援にもつながることより、引き続き、今後の取り組みに期待します。</p>	

<p>評価項目 2</p> <p>事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その2）</p>	
<p>前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）</p>	
<p>小規模保育施設ならではの魅力を、保護者はじめ地域などにも広く伝えることを課題目標としました。防犯上、見学者はもちろん、通行人などから様子が見えにくい施設ですが、園内部では子供たちが楽しく過ごしており、小規模保育施設ならではの言うことのできる第二の家のように過ごしていることを多くの人に知ってもらうことを園では目指しています。</p> <p>主な取り組みとして、1)保育者は散歩時に積極的な挨拶を心掛け、子どもたちからの自然な挨拶の言葉が出てくるようにする。2)近隣の商店街の方々との交流の場に参加する。3)玩具や行事の際の手造りのお土産、4)2歳児クラス終了後のお手紙送付、など一つひとつの小さな取り組みを職員全員が日々根気よく行いました。</p> <p>取り組みの結果、地域の方々の温かく見守ってくださる雰囲気特に散歩の際に感じるようになり、園見学の問合せも目に見えて多くなってきたと感じています。就職希望者からの問い合わせもありました。園として、職員が日々の言動に責任を持ち、保育者という立場に恥じないように努める機運が高めるため、引き続き、取り組んでいます。</p>	
<p>目標の設定と 取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む）</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>評価項目 2 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</p>	
<p>見学対応者はもちろん、看護学校の実習生の受け入れにも協力して、できる限りオープンなイメージで楽しい保育園生活をアピールしてきました。見学の問合せが日増しに多くなり、地域の方々の温かく見守ってくださる雰囲気とくにお散歩の際に感じるようになってきたことは、紹介者、友達および口コミによる共有化も後押ししたと推察されました。目標達成率は80%という園の評価です。小規模保育施設ならではの魅力をさらに広く伝えるため、今後の取り組みに期待します。</p>	

〔サービス分析：小規模保育事業〕

II サービス提供のプロセス項目 ( カテゴリー 6-1～3、6-5～6 )

No	共通評価項目		
1	サブカテゴリー-1		
	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4 / 4	
	評価項目 1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している 評点 ( ○○○○ )		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	○非該当
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
	サブカテゴリー-1の講評		
	<p><u>園の情報は「入園のしおり」や、法人と区の公式ホームページで発信しています</u> 表紙にイラストを配した情報量の多い「入園のしおり」を用意しています。入園のしおりには概要として対象年齢、保育時間、定員、職員、嘱託医の名前も記載しています。また、保育の基本理念、運営方針、保育目標等を掲載し、保育方針が「豊かな人間性を持った子ども」、保育目標が「丈夫な身体、元気な子、明るく優しく素直な子、みんなと仲よく遊べる子」であることを明記しています。他に区が発行する冊子や、区の公式ホームページにも園の連絡先等が掲載されています。区の「保育コンシェルジュ」にも園の情報が紹介されています。</p> <p><u>利用希望者の問い合わせや見学には園長が対応し、保育内容や園の特徴を説明しています</u> 見学希望者には前もって電話等で予約をお願いし、日程は見学者の希望を聞いて一組ずつ設定しています。現在は、新型コロナウイルス感染症防止に配慮して、短時間で玄関から中を見てもらうこととし、園が大切にしている保育目標や環境などを見てもらい、持ち物、保育時間、保育士の人数など保護者が求める情報を渡して、入園申し込みの参考にしてもらっています。妊婦や祖父母の見学もあり、職員と子どもの関わりについて、子どもが入園した時をイメージできるように説明しています。見学後は見学者連絡票に名前のみ記録し見学者用ファイルに綴じています。</p>		
2	サブカテゴリー-2		
	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 6 / 6	
	評価項目 1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている 評点 ( ○○○ )		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
	●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当	

評価項目 2		サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点 ( ○○○ )
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○非該当	
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当	
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当	
サブカテゴリー 2 の講評				
<p><u>入園前の面接では重要事項説明書を一枚ずつ確認し、約束事や持ち物を伝えています</u></p> <p>入園が決定した人には園から電話して入園の意志を確認し、児童票・健康記録などの入園に必要な書類を園に取りに来てもらうか郵送しています。入園前の個別面接は、主に通常保育の午睡中に設定しており、必要書類に記入して持参してもらい、重要事項説明書を一枚ずつ確認しながら会話を進めています。集団生活での約束事なども説明し、用意する物は写真や実物をサンプルとして提示し、質問にも答え、説明漏れがないように確認書を交わしています。慣らし保育の予定や、食物アレルギー等の配慮、意向食の確認、個人情報の取り扱いも確認しています。</p>				
<p><u>無理なく園に馴染めるように一人ひとりの子どもに合った慣らし保育をおこなっています</u></p> <p>入園当初の慣らし保育の有無は、保護者の職場事情も考慮し、就労の都合や子どもの状態を見て個別に決定しており、数日かけて少しずつ時間を延ばし、子どもの負担を軽減しています。園側も、新入園児一人ひとりを、共通の理解で迎えることができるよう、入園前面接記録等で職員が情報を共有しています。朝の受け入れでは連絡帳の記載事項や保護者との会話から子どもの様子を聞き取り、降園時も保護者への声掛けを増やして園での様子を伝えています。この時期は保護者の緊張もあり、園は希望、要望が気軽に話せる関係の構築をめざしています。</p>				
<p><u>退園・卒園していく子どもと保護者等に、いつでも訪ねて来てもらえる園をめざしています</u></p> <p>保護者の転居など様々な理由で退園していく子どもには、健康の記録や制作帳、作品集などを渡し、寄せ書きや写真付きのカード、手紙を渡して、クラスの皆でお別れをしています。退園・卒園児の住まいが園の近くの場合は園行事に招待したり、保護者の相談に乗るケースもあります。2歳児クラスまでの園のため、幼稚園や認可保育所に進級することになりますが、いつでも訪ねて来てもらえる保育園をめざしています。近くに来た際は立ち寄ってくださいと伝え、相談等があれば継続しての支援を心がけています。</p>				
3	サブカテゴリー 3			
個別状況の記録と計画策定		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 12 / 12		
評価項目 1				
定められた手順に従ってアセスメント ( 情報収集、分析および課題設定 ) を行い、 子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している				評点 ( ○○○ )
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		○非該当	
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		○非該当	
評価項目 2				
全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している				評点 ( ○○○○○ )
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護 ( 生命の保持・情緒の安定 ) と教育 ( 健康・人間関係・環境・言葉・表現 ) の各領域を考慮して作成している		○非該当	

●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達の状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
<b>評価項目 3</b> 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している <span style="float: right;">評点（〇〇）</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
<b>評価項目 4</b> 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している <span style="float: right;">評点（〇〇）</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当
<b>サブカテゴリー 3 の講評</b>		
<u>子どもの情報を児童票に集約し、日々の様子と成長する姿を丁寧に記録しています</u> 入園前の面接では、保護者の記入した児童票、家庭状況調査表等を基に保護者の意向を聞いています。子どもの基本的な情報、家庭状況、成育歴、発育歴、予防注射の接種状況、緊急連絡先やかかりつけ医などの情報や保育園までの道順なども児童票ファイルを見れば一目でわかるようにしています。日々の保護者とのやり取りは連絡帳を活用し、個人の月間指導計画を作成し、日々の活動は保育日誌に丁寧に記録しています。他にも個人面談の記録も綴じて、保育に役立てています。子どもの情報はクラス別にファイルして検索しやすくしています。		
<u>「全体の計画」を基に子どもの発達と興味、地域性を考慮した指導計画を作成しています</u> 「全体の計画」は法人本部が作成した物を使用し、年間指導計画は園の特徴や地域の特性を加え園独自のものとなっています。年間指導計画は年度末に評価と反省をし、4月の最初には作られており、月案、週案共に子どもの発達と地域性等を考慮して立案しています。計画は、職員が話し合っ意見を出し合っ作っっており、子どもたちの興味関心を高める内容で、多様な体験が得られるように工夫を凝らしています。職員は保育士資格を持つ常勤職員のみで記録のスキルを十分に身に着けており保育日誌等記録類には園長の前向きなアドバイスが添えられています。		
<u>園日誌、職員会議、連絡ノートなどを活用し子どもたち全員の様子を把握しています</u> 児童票等子どもに関する情報は必要な時に保育士がいつでも確認できるようにしています。毎月一回定例で行う職員会議ではクラスの子どもの様子を報告し共通の認識で保育に取り組めるようにしています。園日誌には保護者からの連絡や子どもの変化等を記入し、職員連絡ノートも活用し、職員間の口頭での確認も頻回に行い連絡漏れを防いでいます。出勤した職員は出勤簿と一緒に置かれた連絡ノートを見てから業務に就いています。小さい園のため園長、保育士が子ども全員の姿を良く把握しており保護者とも仲が良く情報を共有しやすい環境となっています。		

5	サブカテゴリ-5	
	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ-毎の 標準項目実施状況 5 / 5
	評価項目 1 子どものプライバシー保護を徹底している 評点 (○○)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている ○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている ○非該当
	評価項目 2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点 (○○○)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している ○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている ○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている ○非該当	
サブカテゴリ-5の講評		
<p><u>個人情報の取り扱いは入園時に説明し、保護者の理解を得ています</u>          個人情報に関しては特に配慮しており、園で知りえた子どもと保護者の情報は他に漏れないように留意しています。入園時に個人情報の取得制限、管理、開示等についても詳細に説明しています。ホームページ掲載も保護者に確認し保護者の意向に沿っています。子どもの生活環境や家族構成等も守秘義務を守っています。重要書類を放置しない、決められた場所での保管、持ち出し注意、来訪者への配慮などに関して職員間で徹底しています。子どもの羞恥心に配慮し、おむつ替えは部屋の奥の決まった場所で行い、着替えもパーテーションを使用しています。</p>		
<p><u>各家庭の価値観や生活習慣を把握し職員間で共通理解し、指導計画に反映させています</u>          家庭によって異なる価値観や生活習慣があることを十分理解し、子どもと保護者の気持ちを大切にされた保育を実践しています。送迎時の会話、連絡帳の記載は、子育てについての意見交換の機会ともなっており、子どもの家庭での生活サイクルや、保護者の持つ価値観を汲み取るようにしています。個人面談でも保護者の要望を聞き、小さなことでも保育に活かしていこうと考えています。全園児に個別指導計画を立てているため、保護者にねらいを伝え感想を貰っています。日本以外の国籍の保護者の食習慣、生活習慣を尊重する姿勢も示しています。</p>		
<p><u>法人内研修として権利擁護を取り上げ、一人ひとりを尊重した保育を実践しています</u>          虐待防止に関して様々な研修資料を用いて、職員が共有する機会を持ち、法人内の「権利擁護研修」では不適切保育の例をあげるなどして、人権に関する意識を高めています。区のガイドラインに沿った「振り返りシート」を使用し自らの言動や保育を再確認する機会を設けています。園長はじめ職員は、日々の保育での気づきを職員間で話し合える雰囲気大切に、お互いの言動やマナーの向上に努めており、人権尊重の保育について職員の意識の高さは随所に見られています。育児困難家庭の支援や保護者支援にも取り組み、専門機関との連携も取れています。</p>		
6	サブカテゴリ-6	
	事業所業務の標準化	サブカテゴリ-毎の 標準項目実施状況 4 / 5
	評価項目 1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている 評点 (○○○)	
評価	標準項目	

●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当
<p>評価項目 2</p> <p>サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評点(○●)</p>		
評価	標準項目	
○あり ●なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
サブカテゴリー6の講評		
<p><u>日常保育に必要な手順書、マニュアルが整えられ、業務標準として活用されています</u></p> <p>園の運営にかかわる手順・マニュアル類には、食事面(アレルギー対応含む)、健康管理(感染症対策含む)、事故防止、安全環境、虐待対応、危機管理、苦情解決など取り揃えており、保育活動の拠り所として文書保管がされています。それらは園の書棚に置かれ、いつでも閲覧できますが、必要な時に活用するといった面で課題がありました。新入職員に対しては、保育に必要なマニュアルを配布して導入教育に活用しています。これらの手順・マニュアル類の一覧表を作成しており、そのなかで保管期間を示すなど、足立区のガイドラインに従っています。</p>		
<p><u>手順書、マニュアルの定期見直しの基準・ルールを明確にすることが期待されます</u></p> <p>保育の基本事項や手順が、標準的なものとして適切にマニュアル類に反映にされているかの点検は主に本部がメインとなって行われていますが、都度の見直しは本部と連携を取りながら対応しています。保育業務の改善は日常の活動の中で行われ、職員の気づきなど園内で共有し保育サービスの見直しの必要性を把握するようにしていますが、手順・マニュアルの見直し基準等定めていません。保育サービスに意見や提案等があった場合には、園長が説明責任を果たしながらすぐに吸い上げ、必要に応じて職員会議で正式に手順等に反映しています。</p>		

III サービスの実施項目 ( カテゴリー 6-4 )

		サブカテゴリ-4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ-毎の 標準項目実施状況 34 / 34	
1	評価項目 1 子ども一人ひとりの発達状態に応じた保育を行っている	評点 ( ○○○○○○ )	
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当
	●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当
	●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども ( 障害のある子どもを含む ) の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当
	●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル ( けんか・かみつき等 ) に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当
評価項目 1 の講評			
<p><u>子ども自らが玩具を選んで遊べる環境を整え家庭と同じようにのびのびと生活しています</u>                      運営方針の一つに「子どもたちが心地よく過ごし、心身ともに健やかに成長していくためにふさわしい生活を豊かにつくりあげていきます」を掲げ、安全で楽しく過ごせる環境づくりに力を入れています。保育士は子どもの遊びを見守り、子どもが自ら考えて遊ぶことを大切にしています。玩具の置き方や保育士の声掛けに気を配っています。訪問調査時も保育室内で夢中になって遊び、創造性や自発性を発揮している子どもたちの様子を見ることができました。子どもたちは愛情と信頼感を感じ取り、家庭で過ごすのと同じようにのびのびと生活しています。</p>			
<p><u>保育士に温かく見守られながら、子ども同士の触れ合いが深まるようにしています</u>                      子どもたちが保育士に温かく見守られながら自由に遊び、一人遊びから皆で遊ぶ楽しさを知り、自己表現や達成感を感じています。保育士との関わりから、自分が大切にされていることを実感し、子どもたちに思いやりの心が芽生えています。保育士は一人ひとりの子どもの違いを受け止め丁寧に接しています。異年齢で過ごす中で刺激を受け理解を深め友達関係を広げたり、学び合えるようにしています。発達過程で個別配慮が必要なケースでは区の専門機関からアドバイスを受けることも可能で、行動理解や関わり方を学び保育士が共有して保育に活かしています。</p>			
<p><u>子どものトラブルでは、双方の気持ちを汲み取りながら援助しています</u>                      年齢の小さい子ども同士のトラブルには、双方の思いを汲み取りながら保育士が仲立ちして、仕草や言葉で伝えられるように話しています。年齢が高くなるにつれて、保育士が表現方法を変えて伝えたり、気持ちのコントロールの仕方や、友達の思いに気づく機会と捉えて、子どもに合わせた言葉で話しています。特に乳児の段階では、けがの無いように見守り、保育士が環境を見直ししています。保護者にはトラブルの内容を、実際の情景を含めて話しています。噛みついた子どもの保護者にも、子どもの心情を伝えながら、事実を伝えるようにしています。</p>			
2	評価項目 2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている	評点 ( ○○○○ )	
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当

●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目 2 の講評		
<p><u>登降園時は園長はじめ保育士全員で保護者との対話を大切にしています</u></p> <p>園の玄関を入るとカウンターと机があり、通常、園長が笑顔で子どもたちを迎えています。登園時の対応としては、機嫌は良いか、顔色や全身状態はどうかなど確認しながら一人ひとり検温しています。連絡帳の閲覧とともに、保護者に変わりがないかを聞いています。熱が高めなど、気になる場合は再度の検温をし、保護者には「日中、園から電話があるかもしれません」と伝え、気に掛けてもらっています。降園時のお迎えの時間や違う人のお迎えの連絡などは職員間で申し送っています。降園時はその日初めてできたことなどを伝えるなど、心配りをしています。</p>		
<p><u>無理なく意欲的に生活習慣を身に着けることができるように支援しています</u></p> <p>朝の会の後に、1歳児2歳児の子どもたちは散歩に出かける準備を済ませ、帽子をかぶり椅子に並んで座って保育士から本を読んでもらっています。散歩から帰ると、自分から帽子を取って、トイレに行き洗面所で手を洗っています。できたらスタンプを押すなどの工夫もあり、1歳児も保育士が促すことなく一人でできるようになっています。食事やおやつ前の挨拶もできます。トイレトレーニングは排尿間隔を把握し、一人ひとりの発達や意欲を家庭と確認し合いながら進めています。降園時の支度も2歳児は自分でできるようになっています。</p>		
<p><u>子どもの年齢や体調に応じてお昼寝や休息を取り、健康維持にも力を入れています</u></p> <p>長時間一緒に過ごす子どもたちが機嫌よく過ごし、健康を維持するためにお昼寝や休息は大切な時間と考えています。家庭での睡眠時間や体調を考慮し、午前睡や昼寝をして、徐々に一回寝のリズムができるようにしています。子どもたちに個人差が見られますので、早く目覚めた子どもは身体を休めたり、静かな遊びをして過ごしています。園は、寝心地の良い午睡用の布団を用意しています。また、寝ていて排泄失敗した時にも、すぐに乾く扱いが勝手が良いマットを用意し「お兄さんふとん」と呼んで使用しています。</p>		
3	<p>評価項目 3</p> <p>日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している <span style="float: right;">評点 ( ○○○○○○ )</span></p>	
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目 3 の講評		
<p><u>子どもたちが自ら考えて行動できるように配慮し、体験を増やせるようにしています</u></p> <p>子どものやり取りを制限せず、体験を増やせるように環境を整えています。保育士は子どもが自ら発見するのを待つ姿勢を保っており、子どもが迷っている様子を見て、ひと声掛けて活動が一步進むきっかけになるようにしています。園長はじめ保育士は、子どもが人と関わる力を養うためには、安心感を感じながら日々生活することが大切と考えており、子どもをしっかり抱きしめながら玩具遊びに関心が向くように声掛けしたり、子どもの求めている</p>		

事柄を察知して保育しています。静と動、集団と個と多くの体験ができるように活動のバランスに配慮しています。

言葉への興味と関心を育てる絵本や紙芝居等を用意し保育士の関わりを大切にしています

表現遊びとして季節の制作や描画、歌やリズム、運動遊びなど、いずれも楽しい気持ちを自由に表現できるようにしています。子どもたちの様子を見て、玩具の入れ替えや補充をしています。伝え合うことの楽しさや言葉への興味を広げる年齢の子どもたちのために、絵本や紙芝居、図鑑などを手に届くところに置き、子どものサインや言葉を遮らないことや、否定的な表現をしないことを保育士全員で申し合わせています。訪問調査時も子どもを膝に、喃語や片言で話す声を受け止めて、思いを代弁している保育士の姿を見ることができました。

戸外遊びや散歩・散策を通しての貴重な体験から、豊かな感性を育てています

戸外遊びや散歩・散策で子どもたちは五感に刺激を受け、たくさんのことを発見しています。天気のいい日は毎日散歩に出かけており、保育士は子どもの数や天候などを考慮して目的を持って出かけています。アスレチックや固定遊具で全身運動をしたり、虫探しの探索活動で発見を楽しんだり、木の葉や木の実を持ち帰って制作に使うのも楽しみの一つです。訪問調査時も、散歩から帰った子どもたちが拾い集めたドングリや、捕まえてきたバッタを園長先生に得意げに見せていました。ルールのある遊びやゲームも大好きで約束事についても徐々に理解しています。

4 評価項目 4

日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

評点 (○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目 4 の講評

行事は日常の保育の延長と考え、子どもが集中して楽しめることを第一に企画しています

過去の園行事の規模を見直し、子どもたちが楽しめる範囲で実施しています。手作りの温かい雰囲気大切に、子どもたちの成長につながる行事を企画しています。行事は子ども主体で楽しく参加できることを第一に考え、保育士間で「待たせない」「繰り返しの練習はしない」の共通認識のもと企画しています。夏祭りごっこでは甚平を着た子どもが、お店でのお買い物やワニたたきゲーム、昆虫採集、お化け屋敷などで楽しみました。運動会ごっこも保育室内にセッティングし、子どもたちの作品を集めてさらに大きな展示物を作り楽しみました。

新型コロナ感染症対策で開催困難な行事も、子どもたちが楽しめるように工夫しました

行事は、子どもの心に残る思い出になり、経験や成長につながるように企画しており、保護者にも子どもの成長を喜んでほしいと考えています。年度の初めに年間予定表を配付し園だよりや連絡帳、掲示等で保護者に取り組みを伝えています。今年は新型コロナ感染症対策で保護者不参加や参加人数を限った行事が多く、園は登降園時の会話で準備の様子を話し、家庭でも話題にしてもらっています。ハロウィン子どもたちが仮装して町を歩きましたが、ルートを知らせ遠方からの見学可能としました。連絡帳には保護者の好意的な感想が寄せられています。

5	評価項目 5	保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点 ( 〇〇 )
	評価	標準項目		
	●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている		○非該当
	●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている		○非該当
	評価項目 5 の講評			
<p><u>長時間にわたる保育を指導計画に位置付け、ゆったり過ごせる環境を作っています</u></p> <p>7時30分から18時30分までの間で仕事に合わせて利用時間を決めています。8時30分から16時30分を短時間利用とし入園時に区で決めた利用時間を守っての利用となります。園は指導計画に長時間にわたる保育への配慮を位置付け、家庭で過ごすのと同じようにゆったり過ごせるように保育士が細かい配慮をしています。少人数でゆったりとした保育が行われており、園は使用する部屋の環境づくりにも力を入れています。ホッとできるスペースをつくり、コーナーを囲みいつもと違う遊びに熱中したり、何をして遊びたいかを聞いて玩具を出しています。</p> <p><u>職員間の引き継ぎを行い、降園時には保護者に直接子どもの様子を丁寧に伝えています</u></p> <p>保護者の就労やニーズに合わせ保育時間を設定し、きめ細かい配慮をしています。保育士は時間を取って子どもの様子を丁寧に申し送っています。降園時は子どもの様子を保護者に確実に伝えています。訪問調査時は降園時間と重なり、何人かの保護者が順番に玄関に現れ、その様子を見ることができました。保育士が荷物を持ち子どもと玄関に行き、膝を落として低い姿勢で保護者と向き合い、今日の出来事を楽しそうに報告していました。園は保護者が安心して預けられる環境づくりに努めており、降園時の様子には保護者との信頼関係が見て取れました。</p>				
6	評価項目 6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点 ( 〇〇〇〇 )
	評価	標準項目		
	●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している		○非該当
	●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている		○非該当
	●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している		○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている		○非該当	
評価項目 6 の講評				
<p><u>季節の新鮮な食材を使用した美味しい食事の提供は、園の特徴となっています</u></p> <p>献立は子どもたちの嗜好に合ったバランスの良いものとなっています。楽しく食べることを第一に考え0歳児クラスは離乳食完了に向けて個別の対応をしています。新型コロナウイルス感染症対策でペーパータオルを使用し、机はパーテーションで仕切っています。会話をせずに食事を摂る約束のなか、保育士が優しく見守りながら、子どもに合わせた量で完食した喜びを体験できるようにしています。最近調理担当者が変わり今まで以上に美味しい食事とおやつの提供への希望が叶いました。椅子と机、茶碗、スプーン、フォークなども子どもに合ったものを使用しています。</p>				

食物アレルギー対応や配慮食の提供では、入念なチェック体制で臨んでいます  
 食物アレルギーの有無や種類は入園面接で把握しています。対応マニュアルに沿って個別対応をしています。職員は当日のアレルギー対応食、除去食を確認し、配膳時には二重三重にチェックトレイもプレートも変えて誤配膳を防いでいます。意向食、配慮食の希望にも応えており、宗教上食べることができない食品を除去して提供しています。食物アレルギー、宗教上の配慮食共に、保護者と面談し、毎月献立を渡し、チェックした食品を園長が再度確認し、調理、盛り付けでも注意し、配膳した後は子どものファイルをトレーの上に置いて、誤食を防いでいます。

食材がモチーフの絵本や歌を題材に、年齢に合った楽しい食育活動に取り組んでいます  
 年齢に合わせ、意欲を育てる食育に取り組んでいます。食材がモチーフの絵本を読み、歌を歌い、食事風景の良いイメージが浮かぶようにしています。無理強いわせず色々な味を体験することで、苦手な食材も口にできるようになっています。そら豆やトウモロコシなどを皆で触って感触を確かめ、お芋ほりごっこで遊んだ後にサツマイモで作ったおやつを食べて楽しむなど、子どもたちが食に対して積極的な気持ちになるようにしています。区の発行するチラシ「食育・野菜の日」などを保護者に配付し、家でも食育に関心を持ってもらえるようにしています。

7 評価項目 7

子どもが心身の健康を維持できるよう援助している 評点 ( ○○○ )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている	○非該当

評価項目 7 の講評

新型コロナウイルス感染症予防に努めケガや病気の予防について子どもたちの関心を育てています  
 新型コロナウイルス感染症予防強化のため、子どもたちはパーテーションを置いて食事を摂っています。戸外遊び後の手洗いやうがいの励行も、歌に合わせたり、シール貼りするなど年齢に応じた方法で促しています。保育活動では園児が間隔をあけて並び、座り、ペーパータオルを使用するなど感染症予防に力を入れています。散歩に出かけるときは道の歩き方、横断歩道の渡り方、公園の遊具での遊び方など、子どもが自ら注意し事故やけがを避けることができるように話しています。絵本、パネルシアター、図鑑なども活用し健康教育に取り組んでいます。

法人の嘱託医の来園で、定期的に健康診断を実施しています  
 法人の嘱託医が来園し、全園児について年2回定期健康診断を実施しています。医師との触れ合いもあり、なんでも相談できるうえに、医師との連携で安心できる環境となっています。検診結果を保護者と共有しており、毎月の身体計測の結果も保護者に報告しています。医療的なケアが必要な子どもの入園については、入園前面接で状況を把握し、医療機関の意見書で配慮事項を確認しています。保護者と療養機関からの情報共有し集団生活の中で十分留意することとしています。安全管理、衛生管理マニュアルが整備されています。

乳幼児突然死症候群や子どもの疾病や感染症情報を保護者と共有しています  
 乳幼児突然死症候群については、0歳児は5分ごとに呼吸チェックを実施し、顔と体の向きも記録しています。登園時に検温をお願いし、健康観察ノートに記録しており、特に0歳児は時系列で記録できる健康観察ノートで健康管理をしています。感染症発生時には掲示物で速やかに保護者に知らせています。入園時には子どもがかかりやすい感染症の取り扱いについて重要事項説明書の中で説明しています。園だよりにも季節の健康情報を掲載しており、区からのお知らせの他掲示にて保護者宛情報提供しています。吐物処理セットも保育室に常備しています。

8	評価項目 8		評点 ( ○○○○○ )
	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
	●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当	
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当	
評価項目 8 の講評			
<p><u>保護者の個別の事情に応じた柔軟な対応で信頼関係を深めています</u></p> <p>入園前の面接では、保護者の就労状況に応じて意向を確認し、様々な理由による急な変更にも柔軟に対応しています。通院や予防接種などによる登園・降園の時間への配慮も個別の申し出を受け対応し、園は保護者一人ひとりの意向を大切に考えています。常に保護者の立場に立った対応を心がけ、いつでも気軽に話しかけてもらいたいと考えています。実際に園長への相談数は多く、会話の中から意見・要望も聞いています。保護者の思いを聞き、必要に応じて保育士が共有し、その内容を日々の保育に活かしています。</p>			
<p><u>連絡帳、園だよりや写真掲示で子どもの姿や活動を知らせ、保護者の意見を聞いています</u></p> <p>保育の見通しを保護者と共有し理解し合うために園だよりやお知らせで保育のねらいを説明しています。子どもの日々の活動シーンを写真で紹介し、園玄関に掲示しています。連絡帳は子どもの表情や微笑ましい姿が伝わるように記入しています。年度末に実施する「保護者アンケート」は、12の具体的な項目について保護者に評価を記入してもらい集計結果を保護者にフィードバックしています。アンケートでは「個人情報の取り扱い」「人権を意識した保育」「栄養バランスの取れた食事」「子どもの体作り」の項目で保護者全員が優れていると回答しています。</p>			
<p><u>新型コロナ感染症対策のもと、個人面談を実施し園と保護者が思いを伝え合っています</u></p> <p>保護者会は新型コロナ感染症対策の為中止となっており、日頃の子どもの姿を見る機会が減ることで保護者の理解が浅くならないように、園は最大限工夫をしています。2歳児の「かけっこ大会」は公園で行い、遠くから保護者が見学できるようにし、1歳児のハロウィンには仮装して町を歩きましたが、ルートを保険者に知らせて見学できるようにしました。個人面談は申し込み制とし、保育の見通しや子どもの様子を伝えています。感染症対策の徹底のため見送られている保護者参加行事、保護者同士の交流などの再開が待たれています。</p>			
9	評価項目 9		評点 ( ○○ )
	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当	
評価項目 9 の講評			
<p><u>子どもたちが地域や社会に興味を持てるようにしています</u></p> <p>商店街に隣接しているために、園で行う日本の伝統行事と、地域の商店街の飾りつけや雰囲気、合わせて体験できるように散歩ルートを考えるなどして、子どもたちが地域を知る機会を作っています。特に七夕飾り、夏祭り、クリスマス、年末年始などはイルミネーションも豊富で、子どもの興味関心を誘っています。散歩の途中で子どもたちは地域の人に挨拶しており、地域との交流が人の温かさを感じさせてくれます。園は公園の花の手入れを担当しており、ハロウィンの行事では仮装した子どもたちが街を歩き、その様子を地域の人や保護者が見守りました。</p>			

感染症予防を徹底しながら地域との交流や連携を視野にアプローチしたいと考えています

消防士や警察官が来園しての行事、高齢者施設との交流なども感染症対策強化で実施できずにいます。新型コロナウイルス感染症予防については今後の動向を早めに察知することで企画に工夫を加えたいと考えています。法人とも相談しながら、園から積極的にアプローチしていきたいと考えています。

## 〔事業者が特に力を入れている取り組み：小規模保育事業〕

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	自ら考えて行動できるように環境を整え、子どもたちの成長を保育士が見守っています	
内容①	子どものやり取りを制限せず体験を増やせるように環境を整え、保育士は子どもが自ら発見するのを待つ姿勢を保っています。子どもが迷っている様子を見てひと声掛け、活動が一步進むきっかけを作ったり、子どもをしっかり抱きしめながら、子どもの求めている事柄を察知して、玩具遊びに関心が向くように声掛けしており、子どもが安心感を感じ取りながら人と関わる力を身に着けています。今年は保育士の手作りのキッチンセットや冷蔵庫、冷蔵庫の中の食品や野菜室の野菜、果物、大きなパーティーなどが加わり子どもが玩具を選ぶ楽しさも増えました。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	1-1-2	経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている
タイトル②	安心と信頼感に満ちた園にするため、園長のリーダーシップを心掛けています	
内容②	子どもと保護者に安心してもらい、気持ちまでも預けてもらえる園を目指しています。これを継続的に維持していくために、コミュニケーションを大切にしたい園の雰囲気作りを心掛け、職員間で連携を深めることのできる職場環境づくりに取り組んでいます。特に保護者対応で職員が戸惑ったときには、園長自らが進んでカバーやアシストに入るなど、リーダーシップを持った行動を常に心掛けています。それを見ることで職員の安心感につながり、そして子どもの安心感、保護者の信頼感につながっていることがうかがえました。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	3-3-2	地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている
タイトル③	地域との積極的なかわりやイベント参加で、地元の人々に受け入れられています	
内容③	日頃から商店街のイベントには積極的に関わっており、例えば、ハロウィン・イベントにおいては、近隣の娯楽施設に協力いただき（子どもがお菓子を渡してもらうなど）、そのつながりで公園の花植えの参加等にもつながっています。園は商店街に隣接し、散歩途中ではお店やお客さんから温かな言葉掛け等もあり、子どもたちそして職員とも地域に見守られている嬉しさや喜びを感じています。また地域ネットワーク連絡会の参加や連携する園との交流を通じ、課題について協働できる体制を整えています。	

## 〔全体の評価講評：小規模保育事業〕

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	小規模保育園のゆったりした保育の中で、子どもたちが愛情と信頼感を感じ取りながらのびのび生活しています
	内容	運営方針の一つに「子どもたちが心地よく過ごし、心身ともに健やかに成長していくためにふさわしい生活を豊かに作りあげていきます」を掲げ、安全で楽しく過ごせる環境づくりに園長、保育士全員で力を入れて取り組んでいます。保育士は子どもの遊びを見守り、子どもが自ら考えて遊ぶことを大切にしています。子どもたちの一日は、好きな遊びに夢中になり、美味しい食事とおやつを食べて、たっぷりの休息を取る無理のない園生活となっています。子どもたちは愛情と信頼感を感じ取り、家庭で過ごすのと同じようにのびのびと生活しています。
2	タイトル	積極的な戸外遊びの取り組みで子どもたちは変化のある遊びでおもいきり身体を動かし、四季の移り変わりを感じ取っています
	内容	戸外遊びや散歩・散策で子どもたちは五感に刺激を受け、たくさんのことを発見しています。園の周囲には乳児も安全に遊べる広場もあります。天気にも恵まれた日は毎日散歩に出かけており、アスレチックや固定遊具で全身運動をしたり、セミの抜け殻や虫探しの探索活動で発見を楽しんだり、赤や黄色の木の葉や木の実を持ち帰って制作に使うのも楽しみの一つです。樹木や公園の花々から季節の変化も感じ取っています。訪問調査時も、散歩から帰った子どもたちが拾い集めたドングリや、捕まえてきたバッタを園長先生に得意げに見せていました。
3	タイトル	送迎時の会話や連絡帳、面談やアンケートを通して保護者とのコミュニケーションを大切にし、信頼関係をつくりあげています
	内容	保育の見通しを保護者と共有し理解し合うために園だよりやお知らせで保育のねらいを説明しています。子どもの日々の活動シーンを写真で紹介し、園玄関に掲示し、連絡帳は子どもの表情や微笑ましい姿が伝わるように記入しています。特に登降園時は園長はじめ保育士全員で保護者との対話を大切にしており、保護者が安心して預けられる環境づくりに努めていることを伝えています。年度末には「保護者アンケート」を実施し、12の具体的な項目について保護者に評価をお願いし、集計結果を保護者にフィードバックすると共に保育に活かしています。

No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	手順・マニュアルの日常的な活用、最新版管理の仕組みの検討など今後の取り組みに期待します
	内容	衛生面や健康面そして安全面等それぞれマニュアル類を整備し、いつでも確認できるよう書棚に置いています。園では保育経験が豊富な職員も多く、園内部での連携等は取れていますが、マニュアルの日常的な活用について園として課題と考えており、すぐ手に取って活用していくような日常にしたいとも考えています。またマニュアル類の見直しや配付文書において最新版かわからないものが見受けられました。マニュアルを職員誰もが見やすく、管理しやすいように、分類・整理・ファイリングとともに最新版管理の仕組みの検討など今後の取り組みに期待します。
2	タイトル	リスクマネジメントの見える化に向けた、今後の取り組みに期待します
	内容	日常の保育の中でのリスク対応については、ヒヤリハット含め、日々のミーティング等を通じて情報が随時園長に集約され、園として都度対応しており、現状大きな問題発生には到っていません。現状大きな問題発生には到っていませんが、リスクの洗い出し・優先順位付けによる対策の実施など、職員の共通理解を含め、園として課題と考えています。これまで積み上げてきたリスク対応の取り組みを活かすため、どのようなリスクがあり、どのように対応するか等リスクマネジメントの見える化に向けた、今後の取り組みに期待します。
3	タイトル	具体的なキャリアパスの見える化等、職員分かりやすい周知といった面で課題となりました 今後のさらなる取り組みに期待します
	内容	年度毎に職員一人ひとりの意向も踏まえて、個人別の教育訓練計画書を策定し、身に着きたい技術水準や専門知識、専門資格の取得を盛り込むなど、職員の能力向上に向け取り組んでいます。園の求める職責または職務内容に応じた長期的な展望は、職員会議や日々の職員とのコミュニケーションのなかで園長が伝えていますが、具体的なキャリアパスの見える化等、職員に分かりやすい周知といった面で課題となりました。キャリアパスの明確化は職員自らが将来を描くことができるようにするためにも重要で、人材育成の骨組みとなるものです。今後のさらなる取り組みに期待します。